

# 2018年度コラファス賞 受賞おめでとうございます

## — ■ 伊藤 健太郎 さん・山下（柴田） 恵里 さん ■ —

上記2名の方々が、2018年度コラファス賞を受賞され、  
10月3日の授賞式で三原学院長から賞状を授与されました。



伊藤健太郎さん

山下（柴田）恵里さん

## — ■ 受賞論文タイトル ■ —

Molecular mechanisms of DNA strand exchange reaction mediated by Rad51 in homologous recombination

伊藤 健太郎さん 分子生命科学専攻 岩崎研究室（博士後期課程2018.3修了）

Investigation of the role and fate of wound epidermis during zebrafish fin tissue regeneration

山下（柴田）恵里さん 生命情報専攻 川上研究室（博士後期課程 2018.3 修了）

## — ■ コラファス賞とは ■ —

1982年スイスの科学者、Dimitris N. Chorafas氏によって設立された賞で、バイオテクノロジーを含む化学の様々な分野の研究を対象とし、若い研究者への援助を目的としています。応募条件は当該年の1月から12月の間に博士の学位を取得ないしは取得予定であること、かつその年の12月31日の時点で32歳以下であることとなっています。我校は世界13カ国21の協力校のひとつになっており、学内で1~2名を選考して候補者として推薦し、ほぼ毎年受賞しています。

次回Chorafas Prize 2019への応募は、2019年2月中旬頃に学院長から研究室教員向けに、メールで呼びかける予定です。2019年が卒業年となる博士課程のみなさん、コラファス賞は、国際的な評価を得るチャンスです。学生時代の総括として自分の研究成果を世界にアピールしてみませんか。

ご応募をお待ちしております。